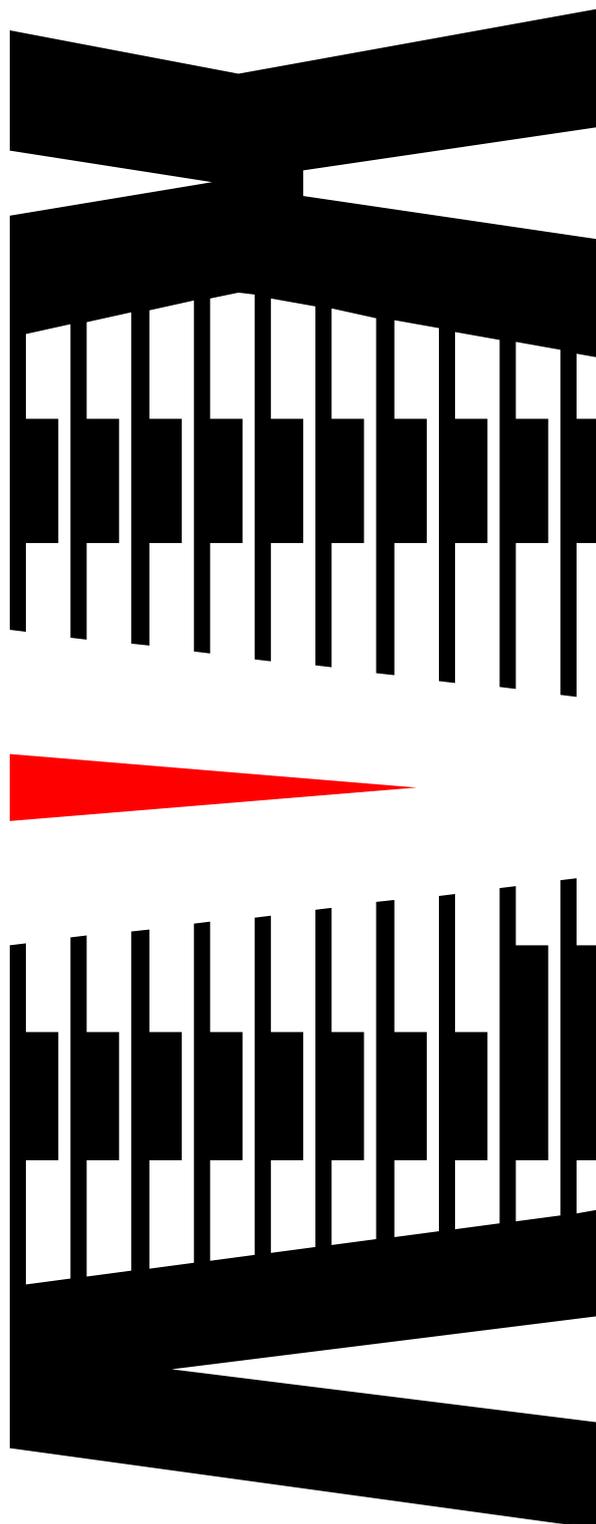


# “アルピクス”音声モード検知装置

AMD-16

取扱説明書

Ver.0.0



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、  
安全の為に指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

## 目 次

	ページ
1. 主な機能と特徴 .....	1
2. 仕様 .....	2
3. 各部の名称と機能.....	6
3-1 フロントパネルの機能.....	6
3-2 リアパネルの機能 .....	7
4. 接続方法.....	8
4-1 接続方法例（TS×1、SDI×16入力の場合） .....	8
5. Webブラウザによる設定.....	9
5-1 メインページ/メニュー.....	9
5-2 Trap送信先IPアドレスの設定.....	10
5-3 NTPサーバの設定.....	11
5-4 IPアドレスの設定・変更 .....	12
6. IPアドレスのデフォルト起動.....	13

## 御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

### 警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

### 注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。（火災や感電の原因となります。）

### お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。  
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く  
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所  
（故障の原因となります。）

# 1. 主な機能と特徴

---

- ◇HD/SD-SDIのVANCに重畳された音声モード/画角情報 (ARIB STD-B39) または、DVB-ASIのストリームに含まれる音声モード/画角情報 (ARIB STD-B32) を取得し、外部に通知する装置です。
- ◇SD-SDI信号入力の場合は、VBIに重畳された音声モードも取得することが可能です。
- ◇DVB-ASI信号入力の場合、MUXされているすべてのストリームの音声モード/画角情報を取得します。
- ◇DVB-ASI信号とそれと相関関係のあるSDI信号を入力することで、上位システムで相互の音声モード/画角情報を比較し整合/不整合を判別することが可能です。
- ◇SNMP設定は、ブラウザから設定可能です。また、NTPによる自動時刻補正機能により時刻設定が可能です。
- ◇入力信号取得項目
  - <HD/SD-SDI>
    - ・ 音声モード
    - ・ 映像フォーマット
    - ・ 画面アスペクト比
  - <DVB-ASI>
    - ・ プログラムナンバー
    - ・ 音声PID
    - ・ 音声フォーマット
    - ・ 音声モード (AAC/MPEG1 Audio Layer 1~3)
    - ・ 映像PID
    - ・ 映像フォーマット
    - ・ 画面アスペクト比

## 2. 仕様

---

### ◆入力

系統 : 16系統  
※16系統ともにDVB-ASI、HD/SD-SDI信号の区別無く入力が可能です。  
入力接栓 : BNCコネクタ

### ◆SDI信号入力

信号形式 : SD SMPTE259M-C 480i [D1]  
HD SMPTE292M 1080i  
音声モード/画角情報取得 :  
ARIB STD-B39

### ◆VBI音声モード取得ライン (SDのみ)

ライン番号 : 19、20、282、283  
VBIの複数のラインに音声モードが存在した場合、  
19>20>282>283の優先順位で取得します。

### ◆DVB-ASI信号入力

信号形式 : DVB-ASI  
音声モード/画角情報取得 :  
ARIB STD-B32

### ◆DVB-ASI信号取得数

1TSに含まれるプログラムナンバーの最大取得数 : 16  
プログラムナンバーに含まれる映像・音声信号の最大取得数 : 8

### ◆取得インターバル

入力された信号を巡回して、音声モード/画角情報を読み取ります。  
取得インターバルは最短で2秒ですが、入力信号数及び  
MUXプログラム数、音声TS数により、インターバルは変化します。  
(1TSの取得時間: 約8秒)  
(※ TS×1入力/SDI×16入力時の取得インターバル: 約10秒)  
(※ TS×2入力/SDI×7入力時の取得インターバル: 約20秒以下)

### ◆音声モード/画角比較

DVB-ASI、HD/SD-SDI間の音声モード/画角を比較する場合、  
上位システムで関連のあるプログラムナンバーとSDI入力を指定し、  
整合/不整合の判定を行う必要があります。

◆音声モード／画角比較対応一覧

・映像フォーマット

SDI 局間情報	MPEG2/H.264 映像
525i (270Mbps)	720x480 / 544x480 / 480x480
525p (270Mbps Dual)	
525i/p (540Mbps)	
750p (1.485Gbps)	1280x720
1125i/p (1.485Gbps)	1920x1080 / 1440x1080

・画面アスペクト比

SDI 局間情報	MPEG2/H.264 映像
4:3	4:3
16:9	16:9
/	2.21:1
/	Square Sample

・音声モード

※M=モノラル、S=ステレオ、D=デュアルモノラル、LFE=低域強調

a/b=前方/後方チャンネル数(例:3/2=前方3チャンネル/後方2チャンネル)

SDI 局間情報	AAC 音声	MPEG1 Audio 音声
M	M	M
2M	2M	2M
3M	M	/
	音声モード=Mの3ADTSを多重	
4M	M	/
	音声モード=Mの4ADTSを多重	
5M	M	/
	音声モード=Mの5ADTSを多重	
6M	M	/
	音声モード=Mの6ADTSを多重	
7M	M	/
	音声モード=Mの7ADTSを多重	
8M	M	/
	音声モード=Mの8ADTSを多重	

※次のページに続く

・音声モード

※M=モノラル、S=ステレオ、D=デュアルモノラル、LFE=低域強調

a/b=前方/後方チャンネル数(例:3/2=前方3チャンネル/後方2チャンネル)

SDI 局間情報	AAC 音声	MPEG1 Audio 音声
S	S	S
2S	S	S
	音声モード=Sの 2ADTSを多重	音声モード=Sの 2ADTSを多重
3S	S	/
	音声モード=Sの 3ADTSを多重	
4S	S	/
	音声モード=Sの 4ADTSを多重	
3/0	3/0	/
3/1	3/1	/
3/2	3/2	/
3/2+LFE (5.1)	3/2+LFE (5.1)	/
S+M	S	/
	M	
	音声モード=S、Mの 2ADTSを多重	
S+D	S	/
	2M	
	音声モード=S、2Mの 2ADTSを多重	
5.1+S	5.1	/
	S	
	音声モード=5.1、Sの 2ADTSを多重	
3/1+S	3/1	/
	S	
	音声モード=3/1、Sの 2ADTSを多重	
3/2+S	3/2	/
	S	
	音声モード=3/2、Sの 2ADTSを多重	

- ◆外部通知
  - 通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
  - プロトコル : SNMP
  - コネクタ : RJ-45モジュラ
  
- ◆外形寸法 : W430 × H44 × D470 mm(突起部を含まず)
- ◆質量 : 約5kg
- ◆電源電圧 : 100V±10% AC 50/60Hz
- ◆消費電力 : 約2.6W
- ◆使用温度 : 5℃ ~ 40℃

### 3. 各部の名称と機能

#### 3-1 フロントパネルの機能

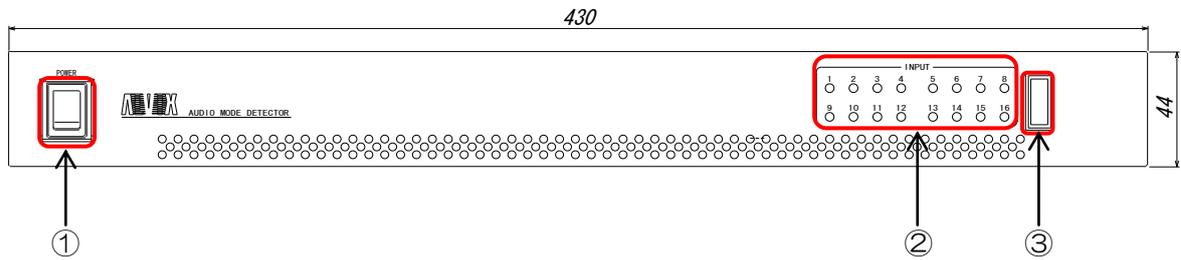


図 3.1 フロント外観図

- ① 電源スイッチ  
本機器の電源ON/OFFを行います。

- ② 状態検知LED  
入力状態をLEDで確認できます。

HD-SDI	緑点灯
SD-SDI	緑点滅 (3秒点灯、1秒消灯)
DVB-ASI	オレンジ点灯
映像入力無し	赤点滅 (3秒点灯、1秒消灯)

- ③ ハードウェアメンテナンスコネクタ  
内部 FPGA 書換用コネクタです。通常使用しません。

## 3-2 リアパネルの機能

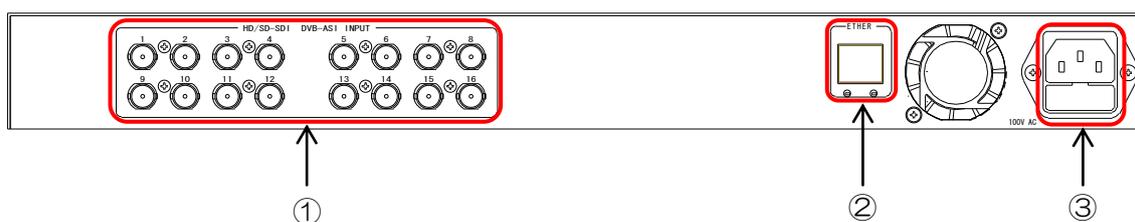


図 3.2 リアパネル外観図

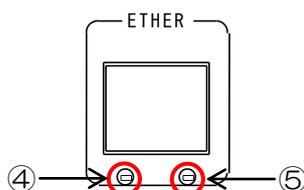


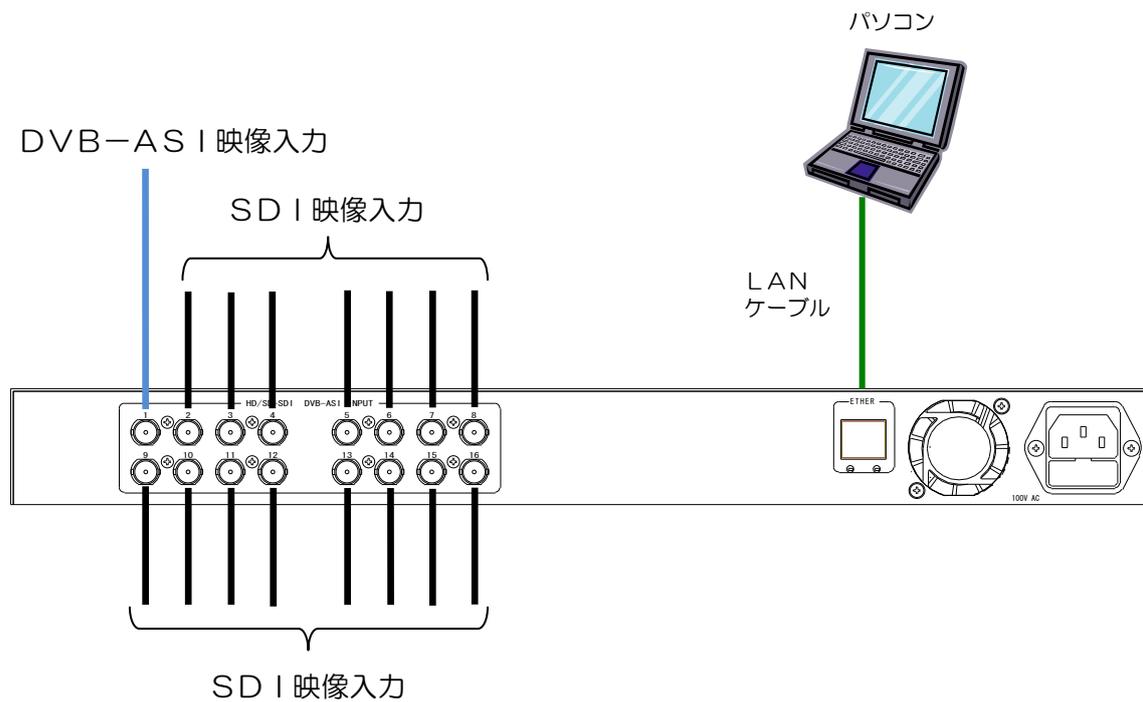
図 3.3 LAN 拡大図

- ① DVB-ASI or HD/SD-SDI 入力コネクタ  
DVB-ASI or HD/SD-SDI を入力します。
- ② LAN  
LAN インターフェースコネクタです。
- ③ AC 入力  
本機の電源入力 (3P インレット) です。
- ④ IP アドレスリセットボタン  
このボタンを押しながら電源を投入するとデフォルトの IP アドレス (192.168.200.254/24) で起動されます。
- ⑤ リセットボタン  
機器が再起動されます。

## 4. 接続方法

### 4-1 接続方法例（TS×1、SDI×16入力の場合）

1. DVB-ASI 信号と SDI 信号を本機の INPUT コネクタに接続します。
2. サーバーソフトウェアをインストールしたパソコンと本機のETHERコネクタを接続します。
3. パソコンを使用した装置の設定については、ソフトウェア操作説明書をご覧ください。



## 5. Webブラウザによる設定

- ◇ 本装置はWebブラウザを使用し、IPアドレス、Trap送信先等を設定することができます。

### 5-1 メインページ/メニュー

- インターネットエクスプローラーを起動し、アクセスしたい機器のIPアドレスを入力します。

※出荷時のIPアドレスは「192.168.200.254」となっています。

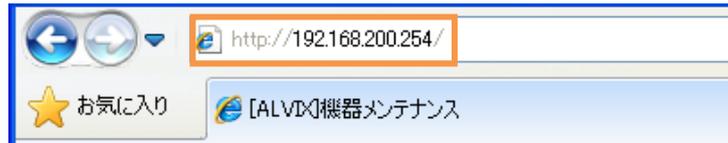


図 5-1-1 URL入力

※ PCのOSがWindowsXP サービスパック 2 以降/WindowsVista/Windows7 の場合は、ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。Windows ファイヤーウォールが有効の場合、正しく設定されない場合があります。

- ログインが完了すると、メニューとメインページを表示します。



図 5-1-2 AMD-16 メイン画面

- (1) メニュー
  - ① 通信設定 …… コミュニティの変更、トラップ送信先の設定が行えます。
  - ② NTP設定 …… NTPサーバ、更新間隔の設定が行えます。
  - ③ ネットワーク設定 …… 機器のIPアドレスの設定が行えます。
- (2) システム情報の表示
  - ④ 機器のシステム名称、ソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョン、IPアドレスを表示します。

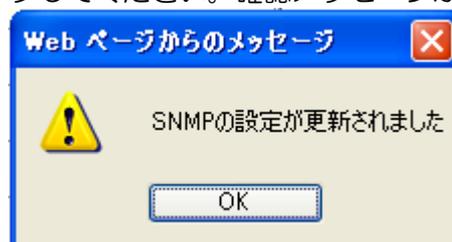
## 5-2 Trap送信先IPアドレスの設定

◇ 機器の監視を行うためのSNMPを設定します。

(1) メニューより「通信設定」をクリックして下さい。

図 5-2-1 SNMP設定

- (1) 任意のコミュニティ名を設定してください。  
■半角英数30文字以内で設定できます。
- (2) トラップ送信先のIPアドレスを設定してください。  
■送信先アドレスは10個まで設定できます。  
※TRAP 送信先へ存在しないIPアドレスは設定しないでください。  
機器のパフォーマンスが著しく低下する原因となります。
- (3)  をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。



- (4) 設定完了後、機器の電源のON/OFFを行い、機器の再起動を行ってください。

## 5-3 NTPサーバの設定

◇ 機器の時刻を設定できます。

(1) メニューより「NTP設定」をクリックして下さい。



図 5-3-1 NTP設定

(2) NTPサーバ設定を行うことで、NTPサーバより時刻同期を行うことができます。

① NTPサーバ名を入力してください。  
■ NTPサーバのIPアドレスを指定します。  
■ <0.0.0.0>を設定した場合、時刻同期は無効となります。

② 更新間隔を入力してください。  
■ NTPサーバへアクセスする間隔を指定します。  
■ <0>を設定した場合、時刻同期は無効となります。

③ **設定** ボタンをクリックしてください。確認メッセージが表示され、設定が有効になります。



(3) 設定完了後、機器の電源のON/OFFを行い、機器の再起動を行ってください。

## 5-4 IPアドレスの設定・変更

- ◇ 機器のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの変更ができます。  
※出荷時のIPアドレスは「192.168.200.254」、サブネットマスクは「255.255.255.0」、  
ゲートウェイは「0.0.0.0」となっています。

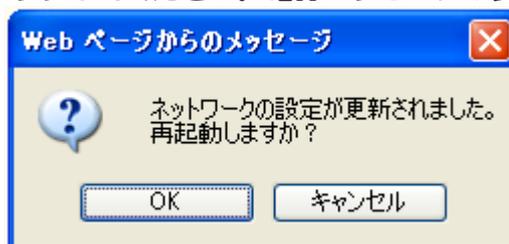
(1) メニューより「ネットワーク設定」をクリックして下さい。



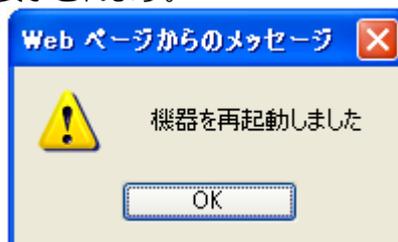
図 5-4-1 ネットワーク設定

(2) 変更したいIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。

(3)  をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。



(4)  をクリックして、機器を再起動してください。確認メッセージが表示されます。



## 6. IPアドレスのデフォルト起動

---

◇機器のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをデフォルト状態で起動することができます。

※デフォルトのIPアドレスは「192.168.200.254」、サブネットマスクは「255.255.255.0」、ゲートウェイは「0.0.0.0」となります。

- (1) 本機電源を切ります。
- (2) IPアドレスリセットボタンを押しながら、電源を投入してください。  
IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイがデフォルト状態で起動されます。  
※IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは一時的にデフォルト状態で起動しているだけです。電源 ON/OFF で元のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイに戻ります。



図 6-1 IPアドレスの初期化

## お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL  
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038